

寓話

新美南吉童謡集

新美南吉

横井敦志

Andante

C G C Em A

8 うん、よし、話をしよ やろう むか したびびと が たびをしよ い

Dm G7 F G Am D F Em Am

8 た なんと #いうさびしい ことだろ う か れはわけも なく たびをしよ いた

G C G C Em A Dm G7 F G

13 8 ある いはきたに ゆき ある いはにしに ゆき おおきい #みちや ちい

Am D F G7 C Am Em

19 8 さいみちを と おつ てい った いっ ても いっ ても かれ

Am Em Am Em Dm G Esus4 E7

23 8 はとどまらな かった ふっ ても てっ ても かれはひとりだ った と

Am Em Am Em Dm G7 C E7 Am Em

27 8 あるゆうぐれ さびしさに たえられなくな った あたりはくらくなり

Am Em Dm E7 Am G C G

32 8 だれもかれに よびかけな かった また そう だそのとき ゆく

C Em A Dm G7 F G Am D

37 8 てに ひとつのひをみ つけ た たけ む #らのむこうに ちらほらしよ いた

F G C G C G C

42
8
たびびとはやれうれしや
あそこにゆけばひとがいる なに

Em A Dm G7 F G Am D

47
8
かやさしいものが
まっ て いそ うだこれ でたすかろうと

F Em Am G C G C

51
8
そのひめあてに
いそいでいった むねが おどっ ていた さび

Em A Dm G7

56
8
しさもわす れて しまった
だが、旅人が何に 迎えられたとみんなは 想う なる

F G Am D E F G

59
8
ほどそこにはやさしいひとびとがいた
ひのもとでたびびとは

Dm G B E Am Em Am Em

63
8
たのしいひとときを
すごした だがとのもをふくかぜのおとを

Am Em Dm G Esus4E7 Am Em Am Em

68
8
きいたとき
たびびとはおもった わたしのいるのは ここじゃない

Am Em Am Em Am Em Am Em

73
8
わたしのころはもう
ここにいない

Dm Em F Em Am G C G C

77
8
さびしいのやまを
あるいてる
たびびとはそそくさとわら

83
8

Em Adim Dm Dm7 F G Am D F G
Dm+7 G7

じをはいて じぶんの#こころをおっかけるように そのいえを

88
8

C G C G C Em A Dm G7

あとにした たびびとは またたびをしていった ま

94
8

F G Am D F Em Am G

た#べつのひがみえるまで なんと いうさびしい ことだろう かれ

99
8

C G C Em A Dm G7 G7

はとどまることもなく たびをしていった この旅人は誰だと思っ かれ

104
8

F G Am D F G C G

はい#までもそこらじゅうにいる そこらじゅうにいっ ぱい いる き

109
8

C G C Em Adim Dm Dm7 F G C G D7
Dm+7 G7

みたちもおおきくなると ひとりひとりがたびをしなきゃ

115
8

F G C C7 F E Am D7 F G C

ならない たびびとにならなきゃ ならない